



2024年11月8日

各位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス  
銘柄名 株式会社IPS  
代表者名 代表取締役 宮下 幸治  
(コード番号：4390 東証プライム)  
問合せ先 管理部長 赤津 博康  
(TEL. 03-3549-7719)

## 第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値の差異および (連結・個別)営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

2024年8月9日に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)において、営業外費用(為替差損)を計上しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,250	百万円 1,500	百万円 1,270	百万円 760	円 銭 59.06
実績値(B)	7,744	2,339	1,588	961	74.62
増減額(B-A)	494	839	318	201	—
増減率(%)	6.8	56.0	25.1	26.5	—
(ご参考) 2024年3月期中間期実績	5,248	925	1,558	954	76.74

#### 2. 差異の理由

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)において、売上高・営業利益は、国際通信事業における通信回線の提供や通信機器販売の計上などにより、前回予想を上回りました。

期末為替レートが円高となったことなどにより、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価に伴い、前述の営業外費用(為替差損)を計上しましたが、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益についても、前回予想を上回りました。この為替差損は、今後の為替相場の状況により変動いたします。

### 3. 営業外費用（為替差損）の計上

2025年3月期第1四半期連結会計期間（2024年4月1日～2024年6月30日）において、為替差益を営業外収益に計上しましたが、その後、為替相場においては急速に円高が進行しました。また、海外子会社の米ドル建債務に関する評価については、2024年6月末の米ドル-フィリピンペソの為替レートに行うため、ペソ安により営業外費用（為替差損）が増加しました。この結果、当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）において、連結決算で677百万円、個別決算で397百万円の為替差損をそれぞれ営業外費用に計上いたしました。

なお、連結決算に関する営業外費用（為替差損）の業績に与えた影響につきましては、本日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期） 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上